



奈良県感染症発生動向調査還元情報（週報）

奈良県感染症情報センター
 （奈良県保健環境研究センター内）
N a r a I D S C



● 今週の概要

- 今週の感染症情報
- 気になる話題～インフルエンザ⑦～ **NEW**
- 全数把握対象感染症発生状況（平成 24 年 1 月） **NEW**
- 奈良県結核患者情報（1 月） **NEW**



（調査週） 平成 24 年 第 7 週 2 月 13 日（月）～ 2 月 19 日（日）

奈良県および二次医療圏別発生状況（奈良県上位 5 疾患）（5 週前からの動向）

順位	疾 患	定点当たり	奈良県	北 部	中 部	南 部
1	インフルエンザ	24.82	→	→～↓	→	→～↓
2	感染性胃腸炎	6.20	→	→	→	↓
3	A 群溶連菌咽頭炎	1.20	↑	↑	↑↑	↓
4	水痘	0.60	→～↓	→～↓	↓	→～↓
5	RS ウイルス感染症	0.34	→～↓	→～↓	↓	→

全県の動きと目立って異なる推移（定点当りの変化程度で実数ではない）を太い矢印で示す。

※インフルエンザ定点あたり報告数は、全県で警報レベル継続中です。

[警報開始基準値は 30.00、警報終息基準値は 10.00]

県北部地区概況 報告数は 736 例で、前週報告の 919 例から減少。上位 5 疾患は、①インフルエンザ、②感染性胃腸炎、③A 群溶連菌咽頭炎、④水痘、⑤咽頭結膜熱の順。感染性胃腸炎の報告数（100 例）は、一転して増加。咽頭結膜熱の報告数（7 例）は、やや増加。A 群溶連菌咽頭炎の報告数（25 例）は、ほぼ横ばい。インフルエンザの報告数（1065→786→572 例）は、2 週連続での急減。水痘の報告数（12 例）は、やや減少。なお、インフルエンザ定点からの報告の内訳《（ ）内は定点当たりの報告数》は、奈良市 HC 管内；228 例（20.73）、郡山 HC 管内；344 例（21.50）で、両管内共に 2 週連続での減少で、両管内共に警報開始レベルは下回った。郡山 HC 管内眼科定点から、流行性角結膜炎が 1 例報告された。奈良市 HC および郡山 HC 両管内基幹定点からの報告はなかった。（村井 記）

県中部地区概況 報告数は、第6週の890例から第7週は804例と減少した。上位の5疾患（第6週→第7週）は、①インフルエンザ（789例→658例）、②感染性胃腸炎（64例→109例）、③A群溶連菌咽頭炎（4例→16例）、④水痘（4例→7例）、⑤突発性発疹（6例→3例）の順であった。インフルエンザは今年の4週、5週がピークで、その後漸減し7週も6週よりやや減少した。眼科定点からは、流行性角結膜炎が桜井HCより1例、葛城HCより2例、急性出血性結膜炎が葛城HCより1例報告があった。基幹定点からの報告はなかった。（徳田 記）

県南部地区概況 報告数（第6週→第7週）は212例→154例と減少。報告のあった疾患は、①インフルエンザ（182例→135例）、②感染性胃腸炎（21例→8例）、③RSウイルス感染症（3例→4例）、④咽頭結膜熱（0例→2例）、④水痘（1例→2例）、④突発性発疹（2例→2例）、⑦A群溶連菌咽頭炎（2例→1例）あった。（柳生 記）

【気になる話題 ～インフルエンザ⑦～】

奈良県の第7週（2/13～2/19）の定点当たり報告数は、24.82人と2週連続で減少しましたが、警報終息には至っていません（警報終息基準値：10.00）。

全国的なウイルス検出状況では、AH3亜型が大半を占めているものの、B型の割合がやや増加してきていると報告されています。

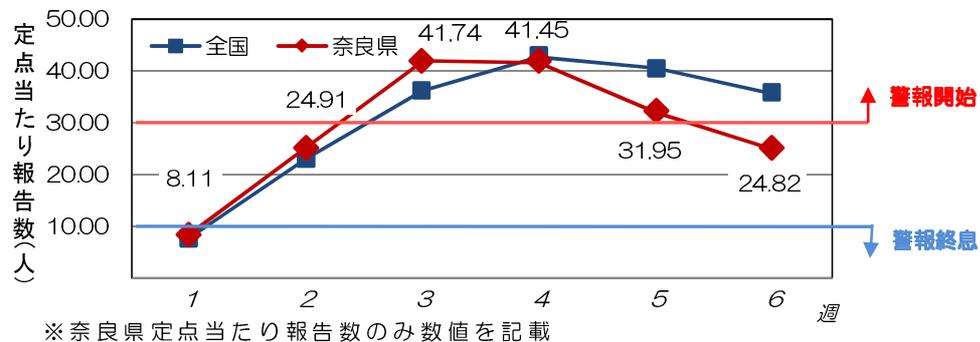


図. インフルエンザ定点当たり報告数の推移

表. 保健所別定点当たり報告数

調査週	奈良市	郡山	桜井	葛城	内吉野	吉野	県合計	全国
第7週 (2/13~2/19)	20.73	21.50	29.27	30.55	20.67	24.33	24.82	35.44
第6週 (2/6~2/12)	31.36	27.56	29.91	41.82	37.67	23.00	31.95	40.34
第5週 (1/30~2/5)	39.73	39.25	35.55	55.45	39.67	31.67	41.45	42.62
第4週 (1/23~1/29)	34.64	41.75	32.36	58.64	42.00	39.33	41.74	35.95
第3週 (1/16~1/22)	17.36	26.44	19.73	32.09	17.00	45.00	24.91	22.73

：警報レベル ：注意報レベル

（感染症情報センター 記）

【全数把握対象感染症発生状況（平成 24 年 1 月）】

平成 24 年 1 月に奈良県内の保健所に届出のあった全数把握対象感染症は、以下の通りです。

1 月報告患者数（平成 24 年 2 月 21 現在）

類型	疾患名/保健所名	奈良市	郡山	桜井	葛城	内吉野	吉野	1 月計
2 類	結核	3	10	2	5		2	22
4 類	つつが虫病			1				1
4 類	デング熱			1				1
5 類	クロイツフェルト・ヤコブ病		1	1				2
5 類	後天性免疫不全症候群			1				1

（感染症情報センター 記）

奈良県結核患者情報

奈良県感染症情報センターでは結核患者発生動向情報を提供しています。
今回は 1 月の新規届出状況をお知らせします。

表. 結核届出数（平成 23 年 4 月～）

市町村	1 月	総計	
北和	奈良市	3	66
	大和郡山市	2	17
	天理市	6	22
	生駒市	1	27
	平群町		4
	三郷町		6
	斑鳩町		4
	安堵町	1	5
中和	大和高田市	1	19
	御所市	2	10
	香芝市	1	16
	葛城市	1	6
	上牧町		8
	王寺町		10
	広陵町		9
	河合町		2
	橿原市	1	28
	桜井市		10
	宇陀市		6
	三宅町		1
	田原本町		6
	高取町	1	2
	明日香村		1
南和	吉野町		2
	大淀町	1	7
	川上村	1	1
	五條市		14
	十津川村		1
合計	22	310	

（2月21日現在）

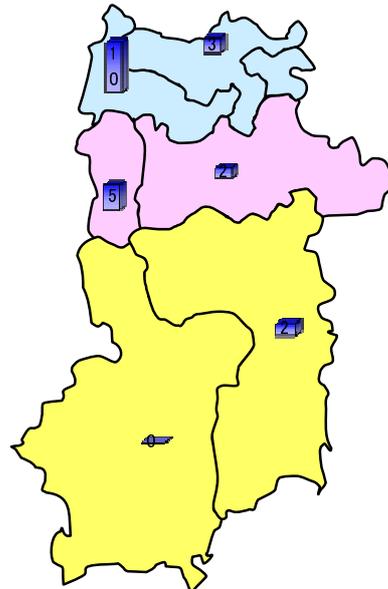


図. 保健所別届出数（1 月受理分）

（感染症情報センター 記）